

平成三十一年度

小論文

(60分)

流通科学部 流通科学科

解答はすべて解答用紙に記入すること

注意事項

- 一、試験開始の合図があるまで、この問題用紙を開かないこと。
- 二、問題用紙は、表紙を含めて三ページである。
- 三、解答用紙は、二枚である。解答は縦書きにすること。
- 四、受験番号・氏名は、監督者の指示に従って記入すること。
- 五、問題用紙の余白等は適宜使用してよい。

問題

流通科学部 流通科学科

次の文章を読んで、以下の問いに答えなさい。

市場は経済全体のゆらぎのなかに埋め込まれている。それは基本的には定常性を保つものの、ひとつひとつの商品・取引者についてみれば、つねに変化している。この変化は、さまざまな機会を作りだす。たとえば、それは某地点の甲氏の商品を他の某地点の乙氏に転売すれば通常以上の利潤を得られるというようなものかもしれない。

このような変動に対し、商人はただちに出勤する。そうして、一方における商品の枯渇、他方における商品の過剰を引き起こし、結果として価格を変化させるまで、このように異常に高い利潤を得る機会を利用しつづけるであろう。その利益が一回の取引で消滅するものであるか、より恒常的な性格のものであるかは、時と場合、このような変動が生じた原因によって異なるが、原理的な差異ではない。

もちろん、このような機会の発見者は商人とはかぎらない。商人でない発見者にも、かれに十分な敏速さと胆力があれば、そして必要な資金を調達する力と信用があれば、この機会を利用する可能性がある。市場における取引の臨機応変な性格がここで発揮される。もし多少とも恒常的に利用できる機会ならば、かれはみずから商人に転ずるであろう。しかし、日々刻々変化する市場の状態を専門的関心をもつて観測しているのは、なんといつても商人たちである。思わぬ機会を発見し、それを利用するのは圧倒的にかれらである。ただし、生産企業者の企業者たちも、ここにいう商人に入れておかねばならない。

オーストリア学派の経済学者たちは市場がつねに「発見の過程」であることを強調してきた。この注意はまったく正しい。市場はきわめて複雑な混沌の秩序であつて、いかなる人間もそれを汲みつくすことはできない。市場における知識はつねに部分的であり、局在化された知識である。しかし、またこのことが、機敏なる商人がつねに特別利潤を得ることを可能にさせるのである。このような商人は流通という付随的な業務を他人にまかせて、純粹なる商人として生きることができる。

商人たちは自己の利益を求めて行動する。そしてその結果として市場の価格を改定していく。この過程はつきのような効果をもたらす。生産と流通の構造が安定し、異常な利潤の機会が汲みつくされたとき。そして固定設備等の存在による収穫の変動を平準化して生産にも流通にも比例的費用がえられたとき。このとき市場に安定的に出現する価格は一定の正常利潤率を仮定したものととなる。この価格はつぎのような最小性をもっている。すなわち、現在知られている生産や流通の技術をさまざまに取り替えても、同一の利潤率を仮定するかぎり、その生産価格は市場の価格以下にはなりえない。これは市場が、代替的な諸技術のうちで、すべての商品の支配労働量を最小にするものを選択すると言い換えてもよい。

現実の経済においては技術の進歩がつねになされ、かつさまざまな外乱が加えられているので、前述の可能性が純粹に成立することはない。しかし、傾向としては、遅れを伴いつつも、ある程度実現されていくだろう。市場価格のこのような最小性は、しばしば厚生経済学が説くような「最適性」をもつとは限らない。このような価格のもとにも利用されない資本や雇用されない労働力が存在する可能性は強い。ただ雇用された労働者にとつては、これは所与の技術と利潤率のもとで最高の実質賃金を意味する。

機会を発見し利用する商人たちの働きは、しかし、収穫不変の条件の下での「最適化」にとどまらない。生産企業者の企業者たちが規模の利益の発揮や生産技術の進歩をつねに狙っているように、商人たちも流通における規模の利益や技術進歩を狙っている。かれらはときに現行の流通ルートを破壊し、新しい市場秩序を作りだすかも

しれない。これらの努力の積み重ねが、当初は思いもよらなかったほどの高い効率を市場にもたらす。これこそがスミスのいわんとした「見えざる手」の働きであろう。「見えざる手」はだから神のような超越者として存在するのではなく、市場の見える手である商人たちの共同の働きなのである。

① ルーティンに従う商人たちが市場の組織者であるとすれば、機会を発見しルーティンを破壊するのは彼らの企業心 (entrepreneurship) である。商人たちはこの双面のヤヌスとして市場の担い手である。市場の理論はこのヤヌスを直視するところから始まる。

(塩沢由典著『市場の秩序学』より抜粋)

注 ① ここでは「秩序」を意味する

② ギリシャ神話に登場する前と後ろに異なる二つの顔を持つ双面神のこと。

問一 以下の二つのことがらについて、それぞれ文中に書かれていることをもとに示しなさい。

- 一 商人として高い利潤を得る機会を利用しつづけるには何が必要なのか。五〇字以内で示しなさい。
- 二 なぜ、商人たちは利潤を得る機会を利用することができるのか。五〇字以内で示しなさい。

問二 「市場の見える手である商人たちの共同の働き」とはどういうことですか。文中に書かれていることをもとにあなたの考えを三〇〇字以内で説明しなさい。